



宇治橋（内宮の入口で、五十鈴川にかかる橋）

▲▲▲▲▲ 社報 ▲▲▲▲▲
 ▲▲▲▲▲ あ ▲▲▲▲▲
 ▲▲▲▲▲ そ ▲▲▲▲▲
 ▲▲▲▲▲ み ▲▲▲▲▲
 ▲▲▲▲▲ や ▲▲▲▲▲
 ▲▲▲▲▲ ▲▲▲▲▲

平成6年6月1日
 第12号
 発行所
 阿蘇神社社務所
 多良見町化屋名862
 TEL 0957-43-5235

伊勢詣で

阿蘇神社

宮司 大島 大明

三月七日より九日迄、二泊三日の日程で伊勢神宮参拝旅行を実施いたしました。伊勢は生憎と雨、しかし雨の中に詣でる神宮も今に思うと、翌日見学した那智の滝に水を集めるための神様のご配慮であつたのかもしれない。

最初宿泊地、鳥羽のホテルで多良見町出身の支配人（山田豊氏）と偶然お会いし、大変な歓迎をいただきました。数多いホテルの中、それも二十一年に一度の旅行での偶然の出会い、これは阿蘇神社の神

様のお導きであつたものと唯々感謝しております。

内宮は全国の神社が本崇と仰ぐ天照皇大神を奉祀するお社であります。新しく建てかえられた御社殿は、全国津々浦々より寄せられた真心の結晶であり、連綿と続く日本の心の蘇りでもあります。

千古の老杉と清らかな川の流れ、古来より「心のふるさと」と慕われている伊勢の神宮。多くの人が参拝され、「心のふるさと」を体感していただきたいと思ひます。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を発揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて、向かふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期す。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、

明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

一、世のため人のために奉仕し、

神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、

国の隆昌と世界の共存共栄とを祈ること

恒例

阿蘇神社節分祭



阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日に盛大に斎行された。午後五時、神殿では新春を迎える節分祭が神社総代及び商工会代表者の参列のもと厳肅に斎行され、引き続き境内では旧年中のお神札・お守り・破魔矢などを焼き納める火焼(ほやき)神事が行われ、祝詞奏上の後神社総代により火が着けられた。

開運招福の豆撒き行事には、戌(いぬ)歳生れの善勇善女計十八名が三回に分かれて奉仕をした。柿

姿に身をつつみ、先ず神前でお祓いを受け、拜殿内で豆打ち神事を行った。その後境内の特設舞台上がり『福は内、鬼は外』の掛け声合わせ豆撒き行事を行った。境内には商工会の青年部・婦人部・喜々津商店街振興会などの協力による出店が並び、地元商店・商社よりの景品がついた福豆を拾う人で境内は埋めつくされた。

今年には舞踊の奉納の申し出もあり、新国舞踊富士川流飯塚章氏他一名により素晴らしい舞踊「黒田武士・勘太郎月夜唄」が奉納された。豆撒きの合間には、子供及び婦人を対象としての腕相撲大会も行われ節分の神社は遅くまで賑わいました。

準備から翌日の後片付けまで、商工会関係の皆様方にはご苦勞をお掛けいたしました。心より感謝とご慰勞とを申し上げます。

景品寄贈の御礼

節分祭の豆撒きの景品を以下の商社より賜りました。ご芳名を記し御礼申し上げます。《敬称略》
喜々津美容室、竹中カメラ、江崎クリーニング、ファッションハウ
ス・マツヤ、もり玩具店、十八銀

行、ブックスやまさき、長崎新菱農機(株)、あづま屋、スーパーあづま屋、シューズあづま屋、おしゃれの店花椿、うしちゃんの後田商店、森田薬品、ツーワンスポーツ、諸岡薬品、寺尾電器、吉田食販、ヘアサロン男爵、陶器のはなぶさ、マルエイ多良見店、親和銀行、めぞんどぼーて、(有)北川石油店、諫早信用金庫、岡東サイクル商会、十善商店、アクテップ、松すし、駅前酒店、つぼみ美容院、青果のもろおか、井手陶器、松尾べっ甲、武田車体、マエダ和光堂、中川ホルモン、尚美堂、オートショッ
プ泰光、後田塗料商事、赤瀬組、(有)森商会、吾妻鮎、良光食品、多良見町商工会、たらみスタンプ
会 以上

新国舞踊富士川流(代表飯塚章氏)では、舞踊を通して老人ホームの慰問など福祉活動を行っています。

舞踊に興味のある方は飯塚章氏宅(四二二三四八四)まで連絡を!

稽古日 月曜 午後七時より
木曜 午後一時より

紀元祭齋行

皇紀二六五四年の紀元祭(建国記念の日奉祝祭)が二月十一日、午前九時より厳肅に斎行された。建国を奉祝しての祝詞を奏上、その後、都山流尺八愛好会(会長坂本如山氏)の会員により『平和の山河』が奉納演奏された。次いで『紀元節』の歌を尺八の伴奏に合わせ、参列者全員で声高々に斉唱した。祭典終了後、作年末に鈴及び鈴の緒を奉納された交通指導員会第一期回(吉田守義氏他五名)、及び中里名山口充喜氏に対し感謝状と記念品が宮司より贈呈された。その後社務所に場所を移し直会を行い、建国記念の日を祝った。

◎紀元祭への奉納御礼《敬称略》
初穂料 都山流尺八愛好会、交通指導員会第一期回、辻 ミツ、佐藤 晶、石丸義雄、村瀬満明、白石 勇、酒田子成 以上

阿蘇神社行事予定

六月三十日 午後四時 大祓い
七月十五日 午後七時 祇園祭
九月十五日 午前十時 穂上祭
十月十五日 午前十時 奉納相撲大会
御鎮座四百六十年祭

第六十一回神宮式年遷宮記念

伊勢神宮参拝旅行の記

阿蘇神社及阿蘇神社総代会では第六十一回神宮式年遷宮を記念して、去る三月七日より九日迄の二泊三日の日程で伊勢神宮参拝旅行を実施した。

七日早朝、参加者総勢三十九名は迎えのバスで大村空港へ。早朝にも拘らず既に酒など召し上がり上機嫌の人もいる。飛行機で大阪までは僅か一時間、大阪空港にはバスガイドさんが笑顔で出迎えてくれた。



雨の中神宮へ参拝（原参事の説明に聞き入る）

バスは一路伊勢へ。途中で忍者屋敷を見学し、ミキモト真珠島に立ち寄った。真珠島では、寒い中海女さんの素潜りの実演を見学した。実演が終わると真珠の並ぶ売店へ直行、記念品の購入に時間を費やした。

宿泊先の鳥羽「ニュー美しま」では多良見町出身の支配人山田豊氏より、刺身・ビールなどの差入を受けるなど熱烈歓迎を受けた。

二日目は雨。神宮参拝は二見ヶ浦で身を清め、外宮そして内宮の順に詣でると云う。先ず二見ヶ浦の興玉神社に参拝、夫婦岩をバックに記念写真。次いで外宮、そして内宮へと移動して参拝した。

内宮は全国の神社が本崇と仰ぐ天照皇大御神を奉祀するお社であり、当日も雨の中全国よりの参拝者で大混雑であった。神宮参事原忠之氏に宇治橋までの出迎えを受け、式年遷宮の説明を含めて案内をいただいた。先ず御正殿で正式参拝、次いで旧殿を拝観したが、萱葺きの御屋根は苔むし大きく波



↓橋杭岩での記念写真 ↑バスの中でハイポーズ！

を打ち、真新しい社殿で参拝を済ませた後だけに二十年の歳月の長さを痛感させられた。

昼食後バスは次の宿泊地紀伊勝浦へ。勝浦では太平洋を展望する洞窟の岩風呂で疲れを癒して宴会となったが、次から次へと歌手が登場、旅行を締めくくるに相応しい賑やかな宴会であった。

三日目は昔からの熊野信仰の聖地として崇められている熊野那智大社へ参拝。傘を差し杖を付いての長い石段では日頃の運動不足を思い知らせた感じがした。一三三メートルの那智の滝は、前日より



の雨で水量も多く、滝自体が御神体と仰がれているが、真に心を洗われる思いであった。滝をバックに全員の写真撮影した。

素晴らしい橋杭岩を過ぎたころより雨も上がり、バスは一路大阪空港へ。少々ハードな三日間の旅行も無事に終了、九日の夜全員恙なく喜々津へ帰り着いた。

平成六年宮中歌会始

御製

波立たぬ世を願ひつつ新しき年の始めを迎へ祝はむ

皇后宮御歌

波なぎしこの平らぎの礎と君らしづもる若夏の島

お題「波」

恒例の宮中歌会始に

詠進をしてみませんか。

歌会始は室町時代から行われておりましたが、今日のように、一般からの詠進歌が披露されるようになったのは明治十二年からです。皇室と国民をつなぐ新春恒例の行事に参加してみてはいかがでしょうか。

なお、平成七年の宮中歌会始のお題は、「歌」と定められました。

◎詠進要領

一、詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限る。

二、用紙は半紙(和紙)とし、毛筆で自書のこと。

三、書式は、半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を縦書きで書く。

無職の場合は単に「無職」と書いても差し支えないが、以前に職業に就いたことがある場合には、なるべく元の職業を書く。

なお、主婦の場合は、単に「主婦」と書いても差し支えない。

◎詠進の期間

九月三十日までとし、郵送の場合には、消印が九月三十日までのものを有効とする。

◎郵便の宛先

〒一〇〇 東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添える。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えない。

以上について疑問があれば、直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて、九月二十日までに問い合わせること。となっています。

◆奉納御礼◆

昨年末以降、以下の通り奉納賜りました。御厚志を感謝し心より御礼申し上げます。

◆新年献米献酒 富永 博 殿
献酒 やきとり代官 殿
十善 商店 殿

◎ビデオテープ 一卷

『皇室と日本人』
―現代に生きる伝統の心―
市布名 峰 政 一 殿

阿蘇神社クロスワードパズルに多数の応募がありました。有難うございました。パズルの答えは「ゴリヤク(御利益)」でした。厳正な抽選の結果、以下の方が見事当選となり、阿蘇神社オリジナルテレフォンカードをお送りいたしました。

◎当選者(二十名)

《敬称略》

寺田多恵子・福田直樹・下平俊子・久住呂幸至(二枚)・田中秀穂・永野申一・福島早苗・中村文字・吉田ひとみ・松本幸子・下平フミ・岡本 普・大黒 貴・三好淳太・山口正弘・山口香織・祐野重子・南里貞子・山口亮子

総代会便り

◆神社総代の移動《敬称略》

総代(シーサイド地区) 1月25日付
退任 坂田 栄治
就任 永門 信蔵
総代(西川内) 4月1日付
就任 本多 實美

責任役員

退任 森 肇
就任 上原 国雄
(総代会副会長) 5月6日付

あとがき

今年も田植えの季節を迎えました。▼政治・経済・国際関係などに吹く風は荒く、目まぐるしく風向きも変わっています。▼荒き雨風に屈することなく、秋には黄金色の穂波が揺れますよう祈りたいと思います。

◎大駐車場完備(阿蘇神社裏)

イーグルパチンコ

神社参拝の駐車場としてもご利用下さい